



●回転しているハンドル、ローター等には、触れないでください。
 ●レバーレキ付キリールでは、レバーを操作する時、指を伸ばすと回転しているローターに当たりけがをするおそれがあります。



安全上のご注意 **ご使用前に必ずお読みください。**

●キヤスナインク（投げける）の時は、ペールを起こすことを忘れないでください。
 ●仕掛けが切れたり、思わぬ方向にとんで周囲の人にけがをさせるおそれがあります。
 ●キヤスナインク（投げける）の時、ストッパーのある機種では、ストッパーをONにして投げてください。OFFにして投げるとハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。
 ●ストッパーのある機種では、ストッパーをOFFにして釣っていると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。
 ●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。
 ●糸で指を切るおそれがあります。
 ●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。



注意



EXSENCE LB SS

C3000HGM

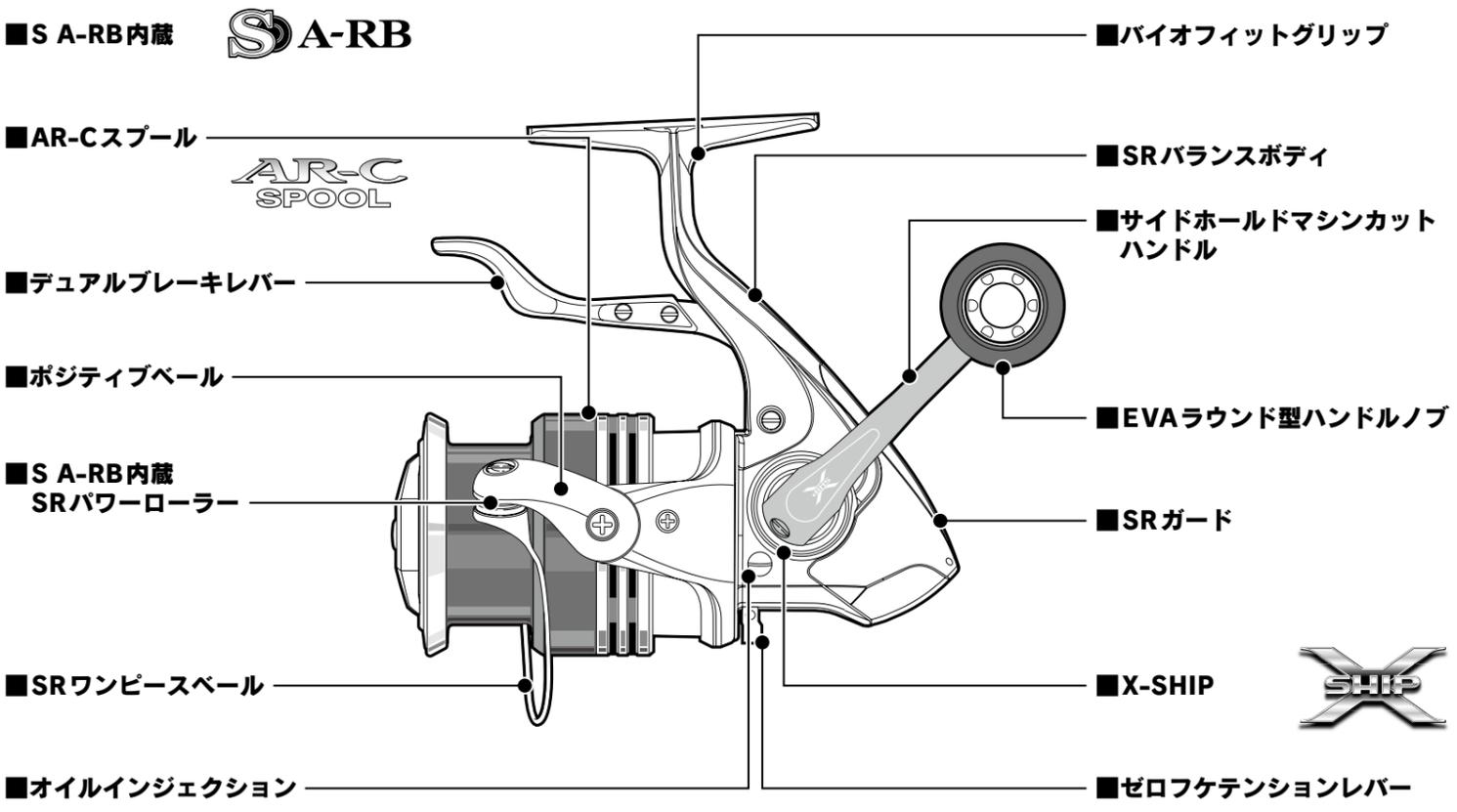


取扱説明書

SHIMANO

このたびはシマノ・エクセスセンスLB SS C3000HGMをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。また、ご愛用いただきたく思います。エクセスセンスLB SS C3000HGMの機能をお読みいただき、リール同様大切に保存していただくようお願いいたします。使用前にこの取扱説明書をお読みください。

各部の名称 **その他の機能**



仕様

品番 商品コード 製品コード	ギア比	最大 ブレーキ力 (N/kg)	ドラッグ力 (N/kg)		自重 (g)	最大巻上長 (cm/ハンドル 1回転)	ベアリング数 (ボール/ ローラー)	ナイロン 糸巻量 (号-m)	PE 糸巻量 (号-m)
			最大	実用					
C3000HGM 02886 5SE15E032	6.0	78.4 /8.0	78.4 /8.0	34.3 /3.5	275	88	S A-RB 6 /0	1.5-165 1.7-150 2-130	0.6-440 0.8-300 1-220 1.2-150 1.5-135

- 製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ボールベアリングには、従来のA-RBをシーリングし塩分の浸入を減少させ、ソルトウォーターでの使用をより快適にしたS A-RBを使用しています。
- 標準付属品
取扱説明書・分解図・リール袋・ハンドルブレンチ・糸止めシール・リールシートスペーサー（2枚）・スプール調整ワッシャ（下図）・LBリール使用説明書



- イージーメンテナンスシステム
(オイルインジェクション) 
- エアロラップ(クロスギア)システム 
- パワーアルミニウムハイブリッドボディ 
- ボルトレスボディ
- ウォーターブルーフドラグ
- フローティングシャフト
- 海水使用 OK 

- シャワー洗浄 OK
使用後はシャワーでの洗浄が可能です。水中には浸けないようにしてください。 
 - 夢屋パーツ取り付け可能
《夢屋タイプ》
- | スプール | ブレーキレバー | ハンドル | ハンドルノブ | ハンドルスクリュウキャップ | リールスタンド |
|------|---------|------|--------|---------------|---------|
| B-1 | L-1 | H-2 | A | HC-2 | D |
- ※詳細はシマノホームページでご確認ください。

定期メンテナンス

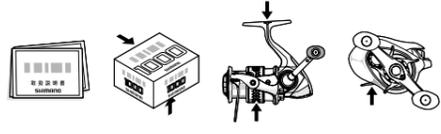
- **ベアリングの塩噛み**
S A-RB(シールド耐塩水ベアリング)はベアリング本体、シールドともに錆びにくい物になっています。しかしシールドはベアリング内部に塩水が浸入して発生する「塩噛み」を完全に防ぐものではありません。ベアリング内部に塩水が浸入して乾燥すると、塩噛みを起こす場合があります。錆びている訳ではありませんが、同様に音なり、ゴロ付き等の症状が出る場合があります。その場合、S A-RB を取り出して真水で洗い流して塩抜きするか、S A-RB ごと交換しなければ完全に解消出来ません。メンテナンスをお受けいただくことをお勧めします。
- **弊社サービスへご依頼下さい。**
リールの状態は、使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく変わります。回転時の異音、違和感を感じられたら、**最寄りの販売店を通じて直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に1度はお預けいただくことをおすすめいたします。**

商品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

- 弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては「仕様」に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は「仕様」をご覧ください。製品名と製品コードをお知らせください。(例/製品名:ステラ 1000S 製品コード:SD83B012)
- リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

- 修理に出される時には、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが動かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください。製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店にご注文ください。内部の部品に関しては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。(例/製品名:ステラ 1000S 商品コード:02425 製品コード:SD83B012 部品番号:2 部品名:スプール)

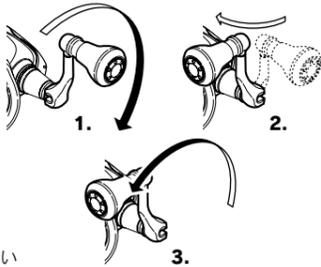
- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。
- **商品コード/製品コードの位置**
取扱説明書・分解図・パッケージ底面もしくは側面に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



使用前のご注意

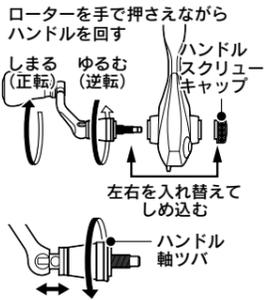
■ハンドルの折りたたみ方法

1. ハンドルを逆転方向に回しゆるめます。
※回しすぎてハンドルが落下しないようご注意ください。
2. 図のように折りたたみます。
3. 正転方向に回し締め付けてハンドルを固定します。



■ハンドルの左右付け替え方法

ハンドルは左右共用ネジ込み式になっています。左右を入れ替える時はローターが回転しないように手で押さえながら、ハンドルを数回逆転方向に回転させるとハンドルがゆるみ、本体より抜けます。ハンドルとハンドルスクリュキャップを左右入れ替えて、ローターを手で押さえながら正転方向に回転させて本体にねじ込んでください。



■糸止めシールの使用方法

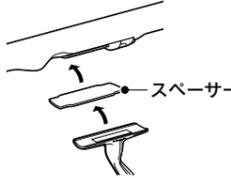
このリールにはPEライン用に糸止めシールが入っています。ラインの巻き始めに下記のようにお使いください。このシールを使用することでライン巻き始めのライン滑りがなくなり、PEラインをスプールに確実に巻くことができます。

1. PEラインのチチワをスプールに締め込みます。
2. この締め込んだラインの結び目の上にシールをピッタリと確実に貼ります。(指などで強く押しつけてください。)
3. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。(最初は少しゆっくりと巻くようにします。)
4. PEラインは滑りやすく、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちりと巻くことが必要です。



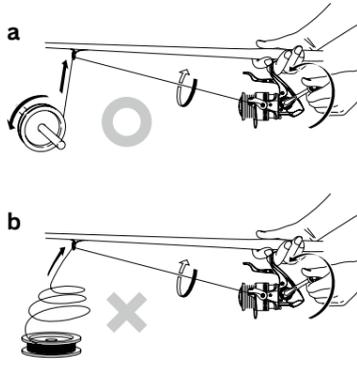
■リールシートスペーサー

竿によってはリールシートに取り付けた時に多少ガタが出る場合があります。その場合には付属スペーサーをリールシートとリール脚部の間にはさみ込んで使用してください。



■糸の巻き方

1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通して。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度(スプールに巻かれた糸にツメを押し込めない程度)なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。(図a) 図bのようにならないようご注意ください。

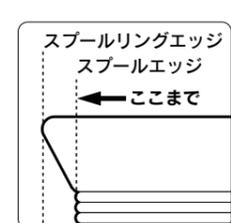


※注意：デュアルブレーキレバーはONの状態を巻いて下さい。

尚、PEラインを巻かれる時は、事前にPEラインを充分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱(抵抗熱)によってPEラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻量

スプールエッジまで巻かれることをおすすめします。(右図) スプールリングのエッジの位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合はAR-Cスピールの性能が得られない場合がありますのでご注意ください。



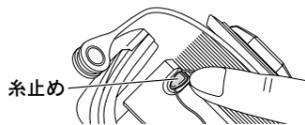
■糸ヨレについて

ラインローラー(SRパワーローラー)は、糸を巻き取る時に、糸のヨレを軽減させる役割をもちます。但し、下記のような状況によっては、ローラーの性能を発揮できず、糸ヨレが発生する場合があります。

1. もともと糸がヨれている時。
2. シカケが回転して、ヨリがかかる時。
3. 非常に軽いシカケを巻き取り、ローラーが回転していない時。
4. その他糸にかかるテンションが低い時。
5. ドラグを多用した時。
6. キャスティング飛距離が短い時。

■糸の止め方

ツメの下側から糸を通して固定して下さい。



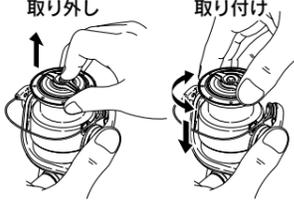
■スピールの着脱方法

●取り外し方

人差し指でプッシュボタンを押しながら、スピールを引いて下さい。

●取り付け方

スピールをゆっくり回しながら、カチツと音がするまで押し込みます。確実に装着できたか、一度引っ張ってはずれないか確認してください。



※ワンタッチスピール取り外しでのご注意

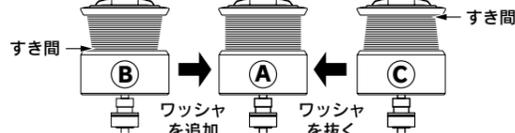
ドラグノブをゆるめておきますと、プッシュボタンを押してのワンタッチ取り外しがしにくいことがあります。その場合はドラグノブを締め、スピールを本体側に押し付けながらプッシュボタンを押すことで外しやすくなります。

※替えスピールについて

替えスピールはサービスパーツで取り扱っています。お買い上げの販売店にご注文ください。

■糸巻形状の調整方法

初期設定はPEライン1.2号-150mで下図Aのようにフラットになるように設定されています。巻き上げテンションは、3号(12lb)以下のナイロン、フロロラインが約160g、3.5号(14lb)以上のナイロン、フロロラインが約300g、そしてPEラインは2号以下が約500g、2.5号以上が約1kgです。PEラインは十分テンションをかけて巻き上げて下さい。スピールに巻かれた糸に、爪が食い込まない事が目安です。又、PEライン1.2号以外の糸巻量は「仕様」をご覧ください。



●調整方法

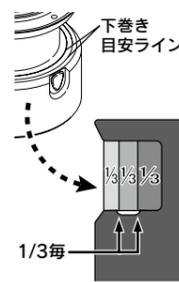
上記の基準糸より直径の細いラインを使用すると上図Bの形状となり、逆に太い糸を使用するとCの形状となります。極端なB(=逆テーパ)形状やC(=順テーパ)は、ともにライントラブルの原因となります。付属のスピール調整ワッシャで、A(=フラットテーパ)に巻き上げて下さい。調整方法は下記の通りです。
B形状の場合… 付属の調整ワッシャを0.25mmから追加して少しづつ増やしていき、Aの形状に近づけてください。
C形状の場合… 付属の調整ワッシャを0.25mmから少しづつ減らしていき、Aの形状に近づけてください。

付属しているスピール調整ワッシャは、0.25mmが2枚、0.5mmが2枚です。尚、使用糸の特性(堅さ、編み方、表面コートの有無等)によって、同じ号数(lb数)でも、糸巻量や糸巻形状が変化します。
※出荷段階では、基準ラインを使用した場合は特にA(=フラットテーパ)に巻き上げる為の調整は必要ありません。

■下巻き目安ラインの利用方法

スピールには下巻きに便利な下巻き目安ラインを全糸巻量の1/3毎に付けました。使用する糸が少なくて下巻きの必要がある場合、一つの目安として参考にして下さい。

[例] C3000にPE1号(AR-C)を150m巻く場合。PE1号の全糸巻量は400mです。全糸巻量400mを3(区画)で割ると、約133mです。3区画分で合計400m、1区画分で約133mのPE1号を巻くことができます。つまり、2区画分である外側の目安ラインまで下巻きすると、残り、PE1号が約133m巻ける計算になります。巻こうとする150mより17m少なく巻ける訳ですので、下巻きは外側の目安ラインより若干少なめにすれば良い事になります。



※下巻きにナイロンラインを使われる時のご注意

「仕様」の糸巻量よりも細いナイロンラインを使用すると、スピールが変形することがあります。

■ドラグの調整方法

ドラグは、その強弱を調整することによって急激な魚の引きに対し、スピールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

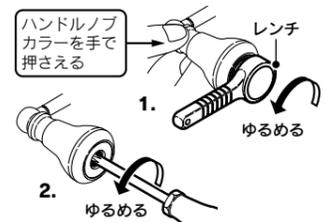
1. 実際に使用される竿に本体をセットし、道糸をガイドに通して下さい。
2. ブレーキレバーを引きつけ、しっかりとブレーキのかかった状態で図のように糸を引き出しながら、ドラグノブの締め付けを調節して下さい。ドラグ力は右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。
3. 通常は糸切れを起こす寸前の力でスピールが空転し、糸が出ていくように調節して下さい。また遠投などする時は、必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにして下さい。ドラグが滑って糸を手を傷つけることがあります。※根がかりを切る時のように完全にロックする必要がある場合には、スプール・ローターを握り込むなどで、直接スプール・ローターの回転を制止する必要があります。



■ハンドルノブの取り外し方

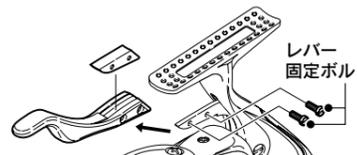
夢屋製品に交換される際は下記の手順で取り外して下さい。

1. ハンドルノブカラーを手で押さえながら、付属のハンドルノブレンチを使い、ハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



■レバーの取り外し方

夢屋製品に交換される際は、2本のレバー固定ボルトをゆるめて取り外して下さい。夢屋製品を取り付けた後、2本のレバー固定ボルトを14.7~19.6N・cm、1.5~2kg・cmで締め付けてください。



■使用後のご注意

■保管上のご注意

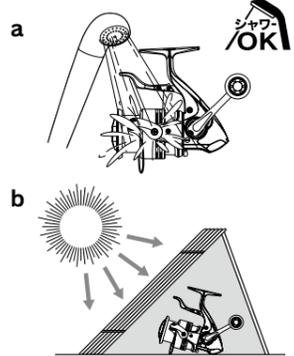
- 海でのご使用後は、「使用後のご注意」「水没時の緊急措置」の方法で塩分を取り除き、良く乾燥させて保管ください。保管の際は必ず竿から取り外して下さい。
- 塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で密閉された空間(自動車のトランク、ダッシュボード)に長時間放置されますと腐蝕を起こす可能性がありますので、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。

■必ず竿から外して下さい。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

■水洗いして下さい。

まず、ドラグ内に水が入らないように、ドラグを締め込んで下さい。次に、シャワー等の真水で、リールに付着した塩分、砂、汚れを水洗いして下さい。(図a) 温水はグリスを洗い流す恐れがありますのでおやめください。又、同様の理由で、リール本体を水没させないでください。



■乾燥させて下さい。

しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干しして下さい。その際ドラグをゆるめ、オイルインジェクションの注油口キャップを外すと効果的です。尚、直射日光、ドライヤー等は、内部のムレを引き起こします。お避けください。(図b)



■注油して下さい。

オイルとグリスは下図を参考にさせていただき、それぞれ間違えないように噴霧して下さい。尚、グリス、オイルは弊社純正品(下記参照)をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。
※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。

SP-003H (メンテスプレーセット)	¥1,900
SP-013A (オイルスプレー)	¥1,050
SP-023A (グリススプレー)	¥1,100
DG01 (リールドラグ部専用グリス)	¥800

※最寄りの販売店にてお問い合わせ下さい。上記は2011年8月現在の品番及び税抜本体価格です。

尚、オイルインジェクションからオイルを噴霧する頻度は、水洗い・乾燥後及び、釣行5回につき1度、または、次の釣行までの期間が1ヶ月以上ある場合に1度を目安にしてください。

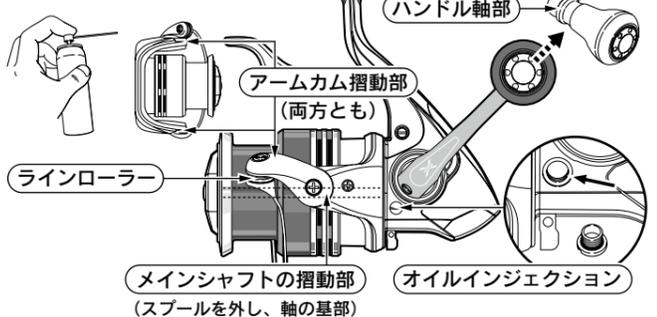
又、1度の噴霧(注油)時間は約1秒です。注油後、注油キャップは必ずお閉めください。逆流したオイルで服を汚す場合があります。

※ドラグ部にはシマノドラグ専用グリス(上記参照)以外は塗布しないでください。ドラグ専用グリスを必要の方は、アフターパーツで取り扱っておりますので最寄りの販売店にてご注文ください。

※オイルインジェクションからのグリススプレーの噴霧はお避けください。ストッパーがきかなくなる場合があります。

●オイル(スプレー)使用部品箇所

※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。



■EVAハンドルノブの取り扱いについて

EVA素材は油分を吸い込みますと洗い落とせないため、メンテナンス等でグリスやオイルを誤って付着させないようご注意ください。

■水没時の緊急措置

万が一、リールを水没させてしまい内部が浸水した場合は、下記の応急処置をとってください。

●淡水の場合

オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして水を抜き、充分に乾燥させた後、シマノ純正オイルスプレーを1~2秒間注油して下さい。

●海水/汽水の場合

真水で水洗いをしてください。その後、オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして完全に塩水を抜き、内部が乾燥するのを待たずに、最寄りの販売店を通して弊社サービスに修理品としてお預けください。

■移動時のご注意点

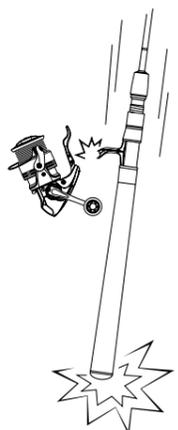
タックルバッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。特に、塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと、腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で、密閉された空間(自動車のトランク、ダッシュボード)に放置されますと腐蝕を起こす可能性があります。

■落下にご注意下さい。

リールを竿に取り付けた状態で、アスファルト、コンクリート等の地面に強く落下させると、衝撃でリールの脚部が折れることがありますのでご注意ください。(右図)

■水中での使用は出来ません。

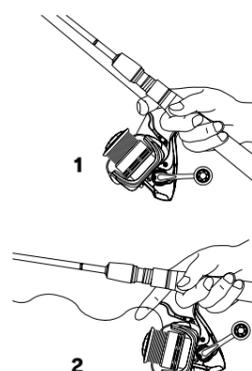
水中での使用には対応していません。絶対におやめください。



■使用中のご注意

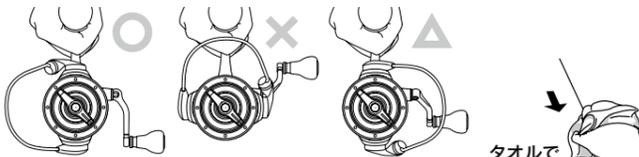
■キャストイング方法

ベールを完全に起こし、図1のように人差し指に糸を引っかけて下さい。竿を振りかぶって、人差し指に感じる糸のテンションが最大になる時に、人差し指から糸を解放します。(図2) その際、ドラグ力が低すぎると、スピールが逆転し指を切る可能性があります。ご注意ください。キャスト後、ベールを手で戻すか、ハンドルを正転させて(ハンドルオートリターン)巻き取りに入ってください。尚、ハンドルオートリターンの際、ハンドルを回す勢いが強過ぎると、ベールが戻り切らない事があります。



■キャストイングポジション

図の「X」の位置で思い切り投げると、ベールが戻って糸が切れる可能性があります。「A」の位置はキャスト後、ハンドルオートリターンしにくい事があります。



■根掛かりした時の対処方法

根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻くか、丈夫な棒状のものに糸を巻き付けてゆっくりと引っ張るようにして下さい。ハサミ等で手元付近の糸を切ると、現場に糸が多く残るのでおやめください。

